



# ドローン・スタートアップ特化型ファンド 「Drone Fund 2号」が 37 億円調達 調達目標金額 50 億円でファイナルクローズへ ～新たに新規投資家として 小橋工業、大和証券グループ、電通、松竹が参画。 ファイナルクローズへ向け、世界最大級のドローン特化型ファンドに～

ファンドサイズは最大 50 億円で世界最大級に

Drone Fund2号ファンド設立時に発表した、みずほ銀行、KDDI、マブチモーター創業家一家、セガサミー、本田圭佑氏に加え、新たに、2号ファンド最大 LP 投資家として岡山県本社の農業機械メーカー小橋工業が参画し、さらに大和証券グループ、電通、松竹が新規 LP 投資家として参画

「ドローン前提社会」、空飛ぶ車による「エアモビリティ社会」の実現へ向けて一気に加速

Drone Fund II 新規LP投資家様

**KOBASHI**

大和証券グループ  
Daiwa Securities Group

dentsu

SHOCHIKU

2018年11月12日 発表

(Drone Fund 2号ファンド設立時以降に参加表明頂いた LP 投資家様)

2018年8月1日に設立された、Drone Fund 2号(正式名称:千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合以下、Drone Fund2号)は、来るべき「ドローン前提社会」や「エアモビリティ社会」に対して、ドローン・スタートアップ企業に特化して投資をするファンドです。

1号ファンドでは、主に日本の技術力や独自アイデアを持つドローン・スタートアップ企業の設立直後から、シード・アーリーステージに対して積極的な投資を行ってきました。

2号ファンドでは、新たに「エアモビリティ社会の実現」というテーマも加わり、空飛ぶ車の研究開発チームや日本にない技術を補うために海外投資に力を入れていきます。

また、2号ファンドでは、日本を代表する大企業が LP 投資家として加わり、2号ファンド最大 LP 投資家として参画が決まった小橋工業は、農業分野における機械化や、ものづくりスタートアップの支援をしてきた実績があり、Drone Fund の基本理念であるドローン前提社会の実現に向けた強力なパートナーになるとファンドとして認識して

います。ドローンや経営者としての知見を持った千葉功太郎(創業者/代表パートナー)と大前創希(共同創業者/代表パートナー)を中心とした専門家チームによって、各投資先の経営マネジメント、LP 投資家様との協業を促進します。またファンドでは珍しい、最高公共政策責任者という形でパートナーとなった高橋伸太郎(パートナー/最高公共政策責任者)による公共政策活動を強化し、ドローン前提社会やエアモビリティ社会を実現するための産業構想や法制度について提言を進めます。

## 2号ファンドでは、日本を代表する大企業が参画

### ○新規投資家様

小橋工業株式会社、大和証券グループ、株式会社みずほ銀行、KDDI 株式会社、マブチモーター創業家一家、株式会社電通、セガサミーホールディングス株式会社、松竹株式会社

Drone Fund II 新規LP投資家様

KOBASHI

大和証券グループ  
Daiva Securities Group

dentsu

SHOCHIKU

2018年11月12日発表

Drone Fund II 新規LP投資家様

MABUCHI  
TAKASHI,REIKO,TAKEHIKO  
(マブチモーター創業家一家)

MIZUHO

Designing The Future  
KDDI

本田圭佑氏  
KSK ANGEL FUND

SEGASammy

2018年7月31日発表

### ○1号ファンドからの継続 LP 投資家様

Mistletoe Venture Partners 株式会社、株式会社リバネス、株式会社 DG インキュベーション株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ、株式会社オークファン、チャンネルベンチャーズ株式会社、日本アジアグループ株式会社

1号ファンドからの継続LP投資家様

At aucfan

MISTLETOE

日本アジアグループ

DG INCUBATION

FFG  
FFGベンチャービジネスパートナーズ

Canal Ventures

Leave a Nest

# 1号ファンドでは、総額 16 億円を計 22 社に投資が完了

2017年6月に始動した、国内初のドローン・スタートアップ特化型ファンド「Drone Fund1号ファンド」は、ドローン市場への注目も相まって、発表後、大きな反響を得ました。この Drone Fund1 号ファンドは、2018年1月にファンド総額約 16 億円にて資金調達を完了しており、2018年10月現在で、22社のドローン関連のスタートアップに投資を実行しております。

このうち 20 社が日本の企業で、ソフト・ハード・サービス提供など全方位に投資を行いました。また海外投資も 2 社実行し、完全無人カーゴドローンの開発を行う Sabrewing 社(アメリカ)と自動制御による複数台ドローンの映像配信ソフトウェアの開発を行う Red Dot Drone 社(シンガポール)にも投資が完了し、合計 22 社となりました。

投資先のマネジメントにおいては、7月に新潟県の舞子スノーリゾートにおいて、第2回千葉道場ドローン部合宿を行い、各社のドローンフライトセッションはもちろん、ファイナンスや PR、大手アライアンスセッションなど、明日から使える経営ノウハウを投資先の CXO と学び合う場を提供しました。このような活動により、投資先間のネットワークも進んでおり、投資先同士の協業はもちろん、インフラ点検業務や機体製造において町工場との連携など Drone Fund1号ファンドの LP 投資家様との事業連携も進んでおります。

### 1号ファンドのサマリー

総額約16億円にて組合組成を完了致し、計21社のドローンビジネスを営む企業へ出資いたしました。

|              |             |
|--------------|-------------|
| ファンド総額       | 投資実施社数      |
| <b>16 億円</b> | <b>22 社</b> |

#### 主な投資先一覧

国内外ドローンスタートアップのハード・ソフト、コア技術・サービスの全方位にわたって、投資を実施いたしました。

|   |  |   |
|---|--|---|
| <br>CLUE<br><small>(株) CLUE</small>              | <br>ACSL<br><small>(株)自律制御システム研究所</small> | <br>ALI<br><small>(株) Aerial Lab Industries</small>              |
| <br>Liberaware<br><small>(株) Liberaware</small> | <br>AERONEXT<br><small>(株)エアロネクスト</small> | <br>SABREWING<br><small>Sabrewing Aircraft Company, Inc.</small> |



本プレスリリース内で使用されている全ての画像やロゴデータは下記よりダウンロードください。

[ダウンロード](#)

## 【Drone Fund について】

略名称 : Drone Fund(ドローンファンド)  
正式名称 : 千葉道場ドローン部 1号投資事業有限責任組合  
千葉道場ドローン部 2号投資事業有限責任組合  
運営会社 : 鎌倉インベストメント株式会社、千葉功太郎  
所在地 : 東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 6F  
ウェブサイト : <http://dronefund.vc>

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

「Drone Fund」広報担当 [pr@dronefund.vc](mailto:pr@dronefund.vc)

プレスリリース内画像素材 <https://www.dropbox.com/sh/y42dds31jk5ktjh/AACWxthHuzs9bNMRuPKMBR61a?dl=0>

### ●手数料等

管理報酬: 出資約束金額の 2.5%(税別)、6 年目以降は 1.75%(税別)

設立報酬: 第 1 事業年度末時点における出資約束金額の 0.5%を上限とした実費分

### ●金販法に関する事項および自己責任

本組合への出資は、ドローン市場が立ち上がらない、エグジット事例がない、回収に時間がかかる、法律の緩和や規制、投資先同士コンフリクトなどさまざまなリスクを内包しており、当該リスクを原因として元本欠損が生ずるおそれがあります。また、組合員の本組合からの任意の脱退および本組合の組合員たる地位の譲渡については、制限があります。本組合への出資にあたっては、貴社独自の責任において、本組合への出資に伴うさまざまなリスク等を十分に理解されたうえで、出資の判断を行っていただくようお願いいたします。本書は、これらの判断につきいかなる助言をも提供するものでもありません。